

# CROSS

—地域コミュニティ形成のための施設の提案—



高橋絵美子

現代社会では情報化が進み、住む地域に関係なくネットワークが広げられるようになった。その一方で人と人が顔を合わせ交流できる地域コミュニティの存在は薄れつつある。しかし 人と関わり合いながら暮らすことのできる地域コミュニティは生活に豊かさをもたらすものだ。地域コミュニティを現代の生活に近づけ、その活力としたい。それでは、自然に人との関わりがもてるのはどのような場なのだろうか。本計画では地域コミュニティ形成のきっかけとなる施設の提案を目的とする。

# 1 現状把握

敷地は練馬区を選定。現状を知るため練馬区生涯学習支援課を訪問、さらに練馬区の保有する地域施設を見学・ヒアリング調査を行った。その中で「きっかけ」がなければ地域コミュニティに関わる以前に、建物にさえ入りづらいことが分かった。

建物の老朽化

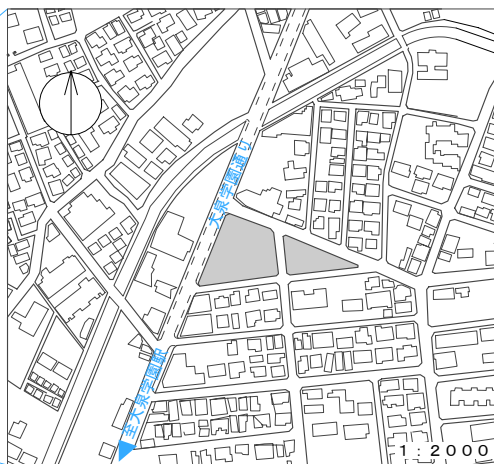
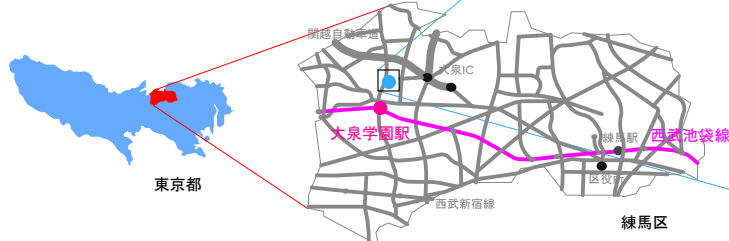
中の活動が未知であること

以上のようなことが目的がなければ中に入りづらい雰囲気を作っているのだ。どんなに魅力あるアクティビティがあっても、その活動を知らなければ関わるができない。施設に関わる「きっかけ」づくり、その手段としてのアクティビティの可視化を試みる。



# 2 敷地

練馬区は区を南北を分かつようにして西武池袋線が抜けている。敷地はその西武池袋線大泉学園駅から続く大泉学園通りに面している。区民の主要交通機関である西武線から住宅街へと続く通りでありこの大泉通りは人・車共に利用度が高い。また、敷地の回りを公道が囲み、中にも公道が抜ける。この敷地であれば多くの人に「きっかけ」を提供できる場になりうると考え選定した。



所在地：練馬区東大泉3丁目53-1

# CROSS

「誰もがぶらりと立ち寄れる」

施設に目的がある人もない人も立ち寄れる、  
地域住民の生活の一部が集まった町のような場

# 3 門型

壁の二面をとった門の形で建物を構成する。  
壁をとることで地域の人には中に入らずとも  
中の活動を垣間見ることができる。

開いている側は視線を通し、  
アクティビティを可視化する。

閉じたカベは  
インフォメーションになったり、  
アートとして飾ったりする。



# 4 プログラム

プログラムには施設に目的（サークル活動など）のある人向けのもの、  
目的がなくただ通りすぎる人向けのものと大きく二種類がある。  
前者のためのスペースが、高齢者・貸館エリアである。  
後者が、パブリックスペース。両者のためのスペースが「公園」である。

高齢者エリア：高齢の方々が集い、コミュニティをつくる

貸館エリア：地域の活動のための場所の提供

パブリックエリア：施設に目的のない人も立ち寄れる

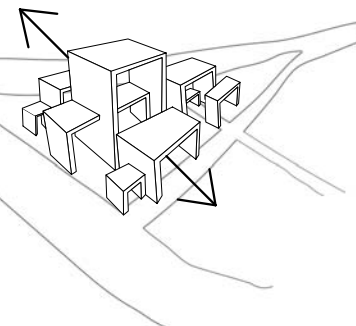
公園：誰もが気軽に立ち寄り、通り抜けることができる場所

# 5 プログラム・門型の挿入

門型の配置

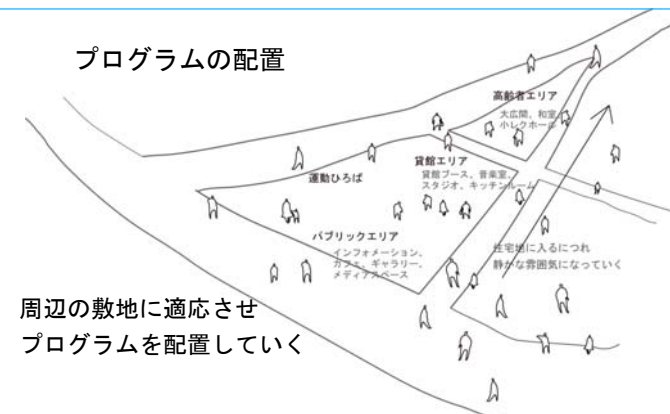
住宅街へ抜ける街路に対して  
中の活動を見せるカタチ

大通りに対してはカベを向け  
シンボリックな面を見せる



プログラムの配置

周辺の敷地に適応させ  
プログラムを配置していく



たとえば 公園によってみる  
大通りから階段を上り上部公園へ  
そして 建物の間を抜け連続する公園へ  
公道に出ると また もとの生活へ



この場で得た何かが、生活に還元される

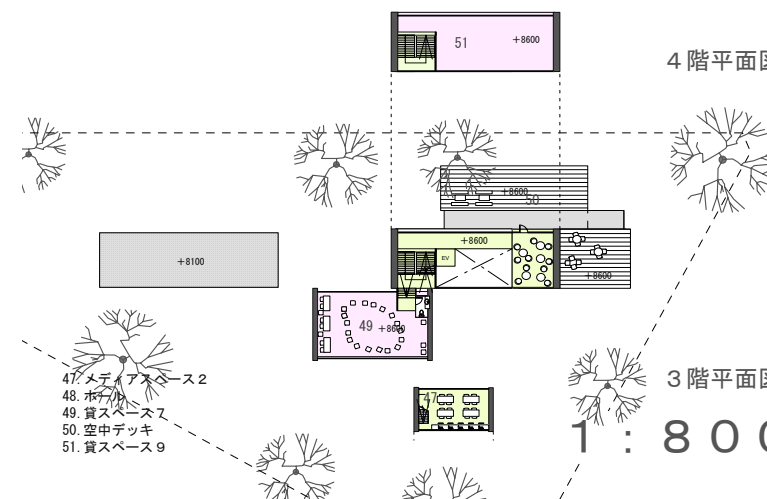
24. カフェ
25. 大階段
26. エントランスホール
27. 事務室
28. 掲示板
29. 本閲覧スペース
30. エントランス
31. ぽんぽん丘
32. ポケットパーク  
(駐輪・駐車スペース)
33. エントランスホール
34. 靴箱
35. 事務室
36. 大広間
37. とんがり広場



1階平面図

1 : 800

4階平面図



3階平面図

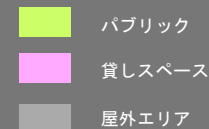
1 : 800

1. レクホール
2. エントランスホール
3. 更衣室
4. ワークショップ室
5. レクホール
6. ギャラリー
7. スタジオ
8. 音楽室
9. 倉庫
10. ロッカー・靴箱
11. 貸館ホール
12. 貸スペース 1
13. 貸スペース 2
14. 貸スペース 3
15. 貸スペース 4
16. 貸スペース 5
17. 貸スペース 6
18. 機械・電気室
19. キッチンルーム
20. 和室
21. 脱衣所
22. 浴室
23. 小レクホール

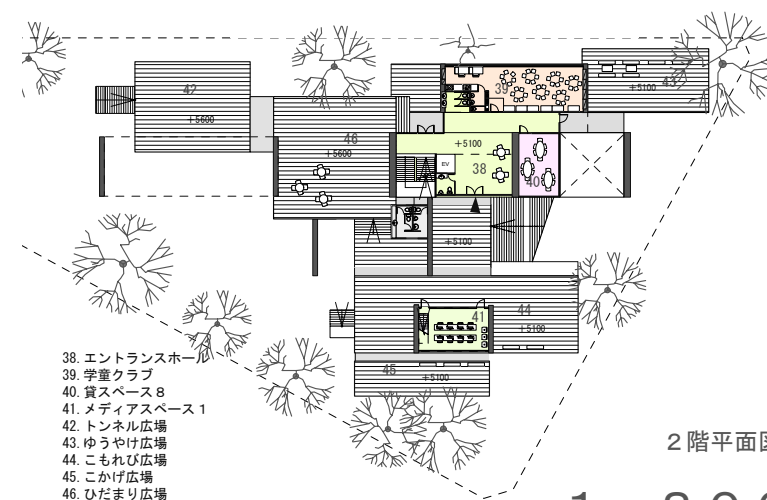
生活の延長線にある  
もうひとつのコミュニティ、  
それが生活に豊かさをもたらす。

地下1階平面図

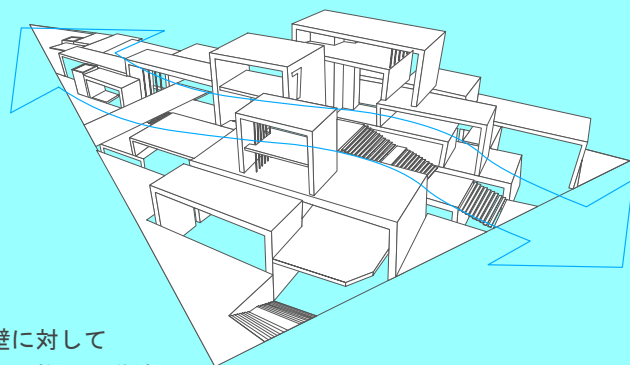
1 : 800



2階平面図



1 : 800

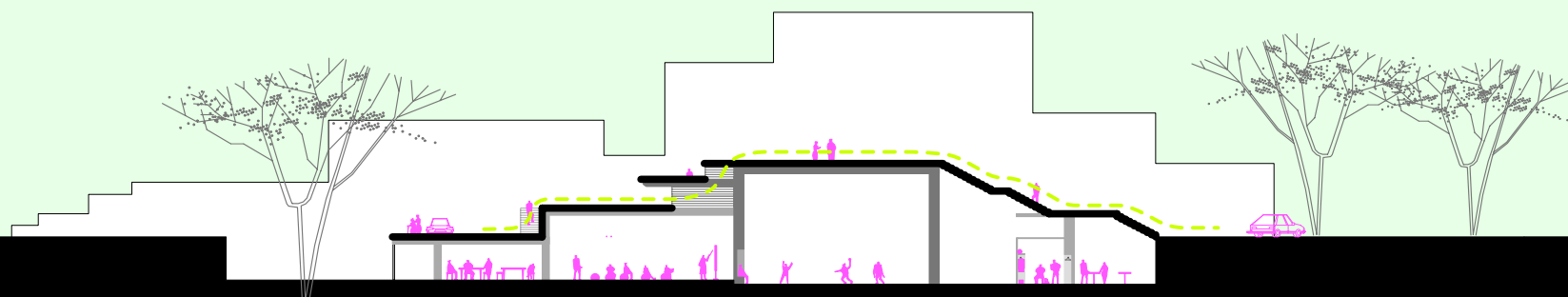
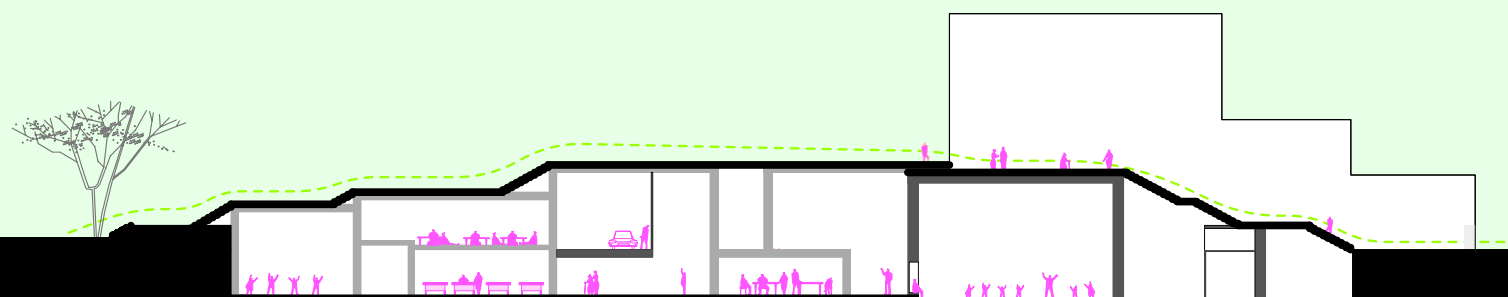


門型の壁に対して  
垂直方向に抜ける導線

## 公園を通り過ぎる → 施設を抜ける

グランドラインから続く屋上公園はだれもが通り抜けできる。  
複数の場所とつながっており、また中の活動も垣間見ることができる。  
公園へ行くことで自然に施設と関われるようアクセスを挿入した。

どこかへいくついでに。犬のお散歩ルートに。家へ帰る前の寄り道の場所に。  
この場所が少しでも多くの人の生活に関われたらいい。







貸館エリア内観パース。スリットから光がもれる。  
施設の外から中をのぞくこともでき、視線が交錯する。



北の住宅街路から  
中のアクティビティを見ることができる



中の様子を垣間見る

CROSS



1 Fより地階を見る



貸館ブース



インフォメーション



連続して見える空間



東の公園からなだらかに続く階段

# CROSS

通り抜ける、交わる

施設を通り抜けることで  
中のアクティビティを垣間見る

そして導線・視線が交わり  
新たな人と人のつながりが生まれる

CROSSすること  
このことがコミュニティ形成の  
「きっかけ」になる

